

【論文試験対策 民法】（後期・火曜日 6 時限）

櫻井 宏平

講義のねらい

論文式試験に求められる能力は、事例解析能力、論理的思考力、法解釈・法適用能力、論述能力です。

司法試験予備試験、法科大学院入試の論文式試験を念頭に、論文式試験において、どの程度の知識が必要であり、その知識をどのように応用して結論を導いていくかの感覚を掴む場とするとともに、論述に当たっての一定の作法（問題提起、規範、あてはめ、結論）を身につけ、求められる上記各能力の向上を図ることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では、司法試験予備試験及び法科大学院等の論文式試験問題を題材にし、理想的な答案の在り方について検討していきます。

第 1 回はイントロダクションとして、論文式問題を用いながら、論文の基本的な書き方について解説します。

第 2 回以降の講義では、各回の最後に次回講義で取り扱う問題を指定します。可能であれば、事前に問題を検討し、答案を作成してきていただきます。

講義では、レジュメに沿って設問へのアプローチ方法や前提となる知識の確認を行います。あわせて、疑問点や答案作成にあたって悩んだ点などを出してもらい、それらを皆で議論していきたいと考えています。

論文式試験は、「書き切る力」が求められます。この力は、実際に答案を書くことによってしか身につけません。法科大学院では、学生同士で自主的な答練ゼミを行い、問題を解き、各自作成した答案について議論するということが行われています。本講座も、そのような雰囲気大切にしながら、実践的な試験対策講座にしていきたいと考えています。

試験勉強を始めて間もない方の受講も想定していますので、安心してご参加ください。参加にあたっては、積極的な発言等を期待したいですが、本講座をご自身の学習の中でどのように位置づけるかは受講生の方々のご判断になりますので、どのような参加の仕方であっても大歓迎です。

楽しく、そして有意義な時間にしたいと思っています。是非一緒に頑張りましょう。

教科書等

有意義な時間とするため、六法とご自身が使用されている基本書や参考書を持参いただくのがよいと思います。